

事業の効果

▶ 安全性の向上

羽咋道路の整備により、道路幅員が狭く急カーブのある現在の国道159号を通過する大型車等の交通が羽咋道路へ転換することで、安全性の向上が期待されます。



現道部の通学時の状況



急カーブ箇所

▶ アクセス性の向上

羽咋道路の整備により、能登唯一の第三次医療施設である公立能登総合病院への所要時間が短縮され、救急医療活動を支援します。

地元企業の物流における輸送時間が短縮され、効率化による地域間連携の向上が期待されます。



公立能登総合病院

▶ 災害に強いネットワーク形成

国道159号は、第一次緊急輸送道路に位置付けられているものの、沿線には土石流危険区域が存在しており、土砂災害等により道路が寸断される可能性があります。羽咋道路の整備により、土石流危険区域が回避され、災害に強い緊急輸送道路ネットワーク機能が強化されます。



H20年7月8日 土石流発生状況
(羽咋市四柳町地先)

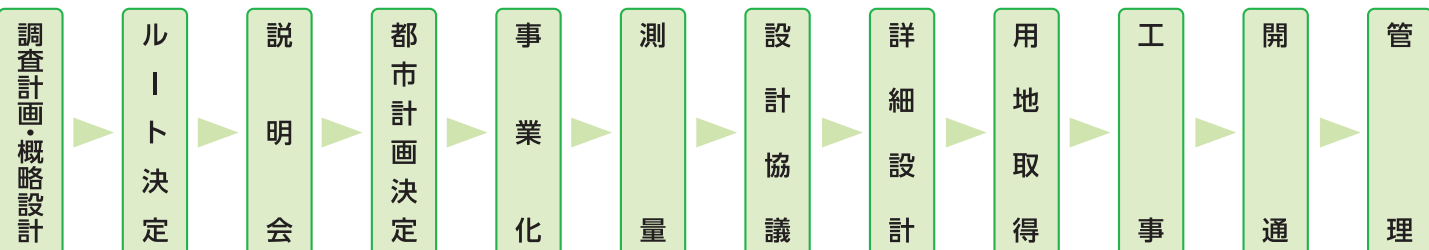
▶ 地域連携プロジェクトの実現

羽咋道路の整備により、石川県の「ダブルラダー輝きの美知(みち)」整備構想の実現に大きく寄与し、七尾・金沢間のネットワークの強化が図られます。



「ダブルラダー
輝きの美知(みち)」構想
構成路線図

羽咋道路ができるまで



■お問い合わせ

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号 TEL 076-264-8800(代) FAX 076-233-9631

ホームページ <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

R70



限られた資源を大切にするために古紙配合率70%再生紙と植物油インキを使用しています。

羽咋市四柳町より金沢方面を望む

至 金沢

羽咋道路

国道159号

至 七尾

国道
159
ROUTE

一般国道159号

羽咋道路



国土交通省 北陸地方整備局

金沢河川国道事務所



2023.12

事業の目的

国道159号は、七尾市を起点として金沢市に至る延長約60kmの路線で、能登地方を縦貫する幹線道路であるとともに、沿線周辺地域の通勤通学等の役割も担う生活道路でもあります。

しかし、羽咋市四柳町～宝達志水町杉野屋間においては、道路幅員が狭い箇所や急カーブ、歩道未設置の箇所なども存在しており、混雑や事故の発生などの交通環境の悪化が懸念されています。

一般国道159号羽咋道路は、このような状況を踏まえたバイパス整備事業であり、鹿島バイパス・押水バイパスなどの周辺道路事業と併せ、中能登地域の幹線道路網を形成し、地域の安全性向上や地域間の連携強化を図るものです。

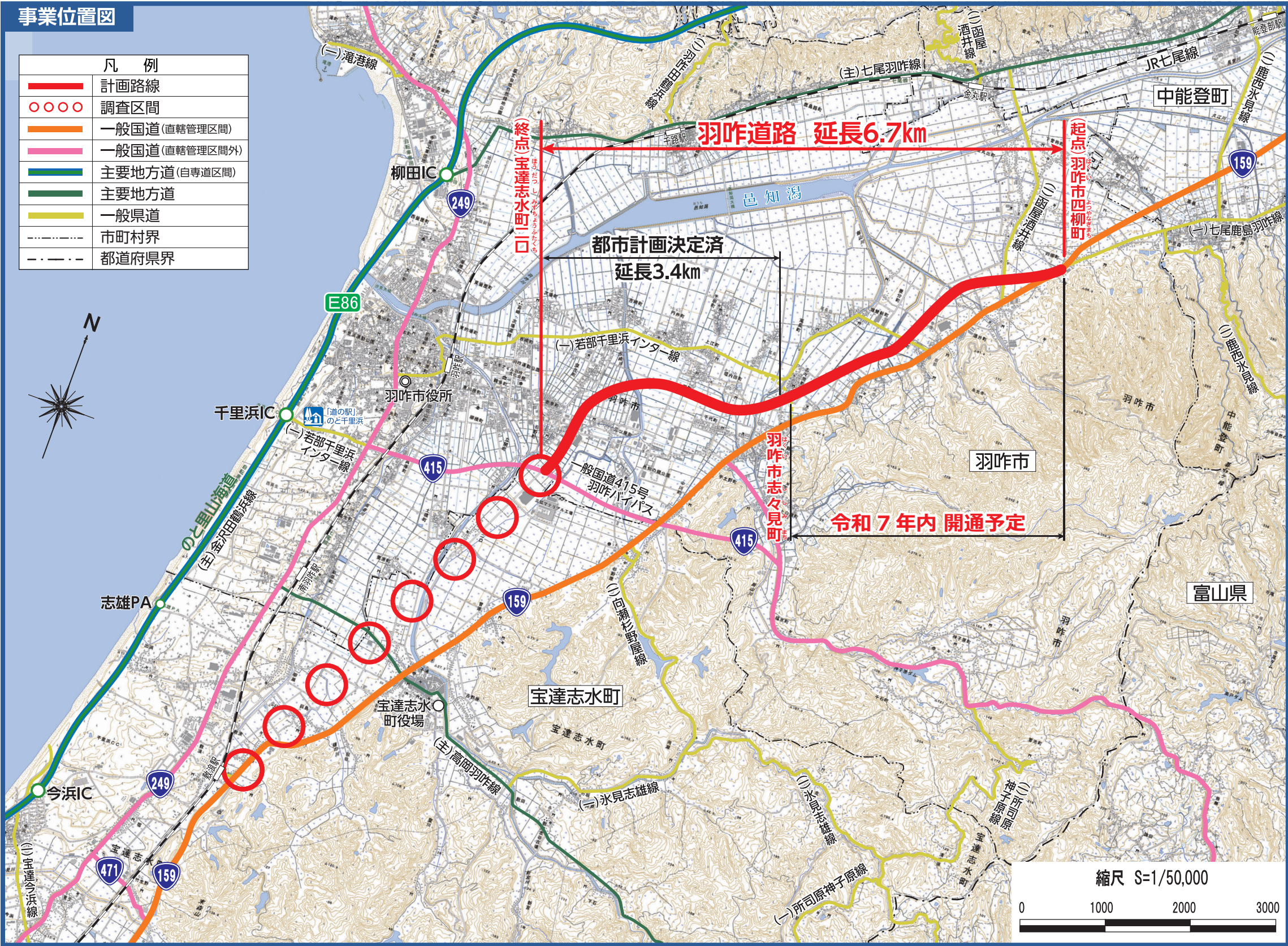
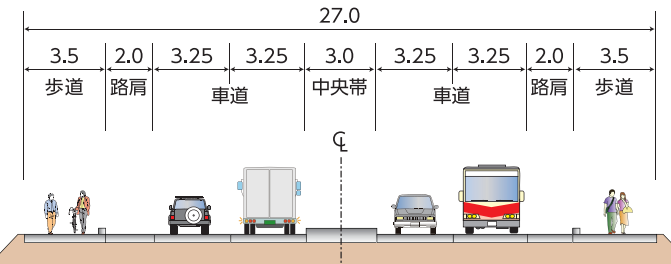


通学時の状況(本江町)

事業の概要

起点・終点	石川県羽咋市四柳町～宝達志水町二口
道路延長	6.7km(都市計画決定区間:3.4km)
道路規格	第3種第2級
車線数	4車線
設計速度	60km/h
標準幅員	27.0m

標準断面図



地図：測量法に基づく国土地理院長承認（複製）R 5JHf 205、本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

周辺の整備計画

国道159号では、円滑な交通流の確保や事故低減に向け、順次バイパス整備を推進してきました。

金沢側では、押水バイパス(宝達志水町宿～免田)が平成2年に開通し、七尾側では、鹿島バイパス(七尾市八幡町～羽咋市四柳町)が平成13年に開通しました。また、七尾バイパスは、平成27年に七尾市古府町～下町間が暫定2車線で開通し、残る七尾市川原町～古府町間が現在整備中です。羽咋道路は国道159号におけるバイパス未整備区間の一部に該当します。

国道159号の整備状況

